

科目名	特別講座 4							年度	2025
英語科目名	Special Lecture 4							学期	後期
学科・学年	I Tスペシャリスト科 2年次	必／選	選	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	中西 真也		教員の実務経験		有	実務経験の職種		システムエンジニア	
【科目の目的】									
学生が最新技術動向を業界のプロフェッショナルから聴講し、見識を広めることを目的とする。ITの技術は転換期にあるため、今後必要とされる人材は、知的好奇心を持ち、興味を持った事柄についてはその深層まで探究することができる人間である。さらに、多様性が求められる昨今、学生とは異なる環境にいる人との交流を持つことが多様な価値観を持つ他者への理解につながる。									
【科目の概要】									
本講義では外部講師による講義となるため、各講師ごとに事前調査、聴講、聴講結果報告の3ユニットで実施する。聴講内容の理解がより深まり有意義なものとなるため、事前調査は必ず行い、重視する。授業時間外での主体的な予習も奨励する。学生の知識定着のため、聴講しただけで終わらず、必ず聴講結果レポートも作成する。外的環境との関わりにおけるビジネススキル向上を意識し、受講マナーについても指導を行う。									
【到達目標】									
学生が本講義を聴講することで、最新技術動向に深く関心を持ち、主体的に勉強会、カンファレンス等に参加できるようになることを目標とする。さらに、就職活動をする上で学生自らの目指す業界、人材像を定めることができるようにする。ダイバーシティが求められる時代に沿って多様な価値観を持つ他者に対して、想像力を持って接し、思いやりを持つことを目指す。また、聴講レポート作成を通して文章作成能力を向上させ、情報を整理して発表するための論理的思考力を養うことを目標とする。									
【授業の注意点】									
本講義では学生が主体的に学習する姿勢を重視する。具体的には事前調査の精度、外部講師への積極的な質問、関わりを評価する。聴講後のレポートには、聴講内容を羅列するだけではなく、自らの考えや新たに学習した事柄について調査した結果等を記載することを求める。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル1 優れている		レベル2 ふつう		レベル3 要注意				
到達目標 A	事前調査が非常によくできている		事前調査が最低限できている		事前調査ができていない				
到達目標 B	講師への質問ややりとりがよくできている		講師への質問ややりとりが最低限できている		講師への質問ややりとりができていない				
到達目標 C	レポートや報告がしっかりできている		レポートや報告が最低限できている		レポートや報告ができていない				
【教科書】									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
課題、レポート、成果発表、平常点									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		特別講座 4			年度	2025
英語表記		Special Lecture 4			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	事前調査	事前知識を整理しておく	1	事前調査	聴講テーマにそった事前知識を調査し、情報を整理することができる	3
			2			
			3			
2			1			
			2			
			3			
3			1			
			2			
			3			
4	事前調査報告	事前調査で得られた情報を整理し、他者と共有する	1	事前調査報告	事前調査によって整理した情報を他者と共有するために、説明・発表することができる	3
			2			
			3			
5			1			
			2			
			3			
6			1			
			2			
			3			
7	聴講	積極的に聴講する	1	聴講	知的好奇心をもって聴講し、見識を深め、テーマについて深層まで探求することができる	3
			2			
			3			
8			1			
			2			
			3			
9			1			
			2			
			3			
10	聴講結果報告	聴講して得られた知識を定着させる	1	聴講結果報告	聴講内容を振り返り、新たな知識を定着させることができる	3
			2			
			3			
11			1			
			2			
			3			
12			1			
			2			
			3			
13	聴講結果報告・まとめ	聴講で得られた情報を整理し、他者と共有する	1	聴講結果報告・まとめ	聴講結果報告・まとめ 結果報告、自ら調査した事柄を他者と共有するために、情報を整理して説明することができる	3
			2			
			3			
14			1			
			2			
			3			

15		1		
		2		
		3		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他				
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった				
備考 等				